

総合教育会議

守山中学・高等学校 校長 瀬戸川 昌之

令和 7 年12月23日



Ⅰ 守山中学・高等学校について

○高校は、昭和 3 8 年開校
中学校は、平成 1 5 年開校

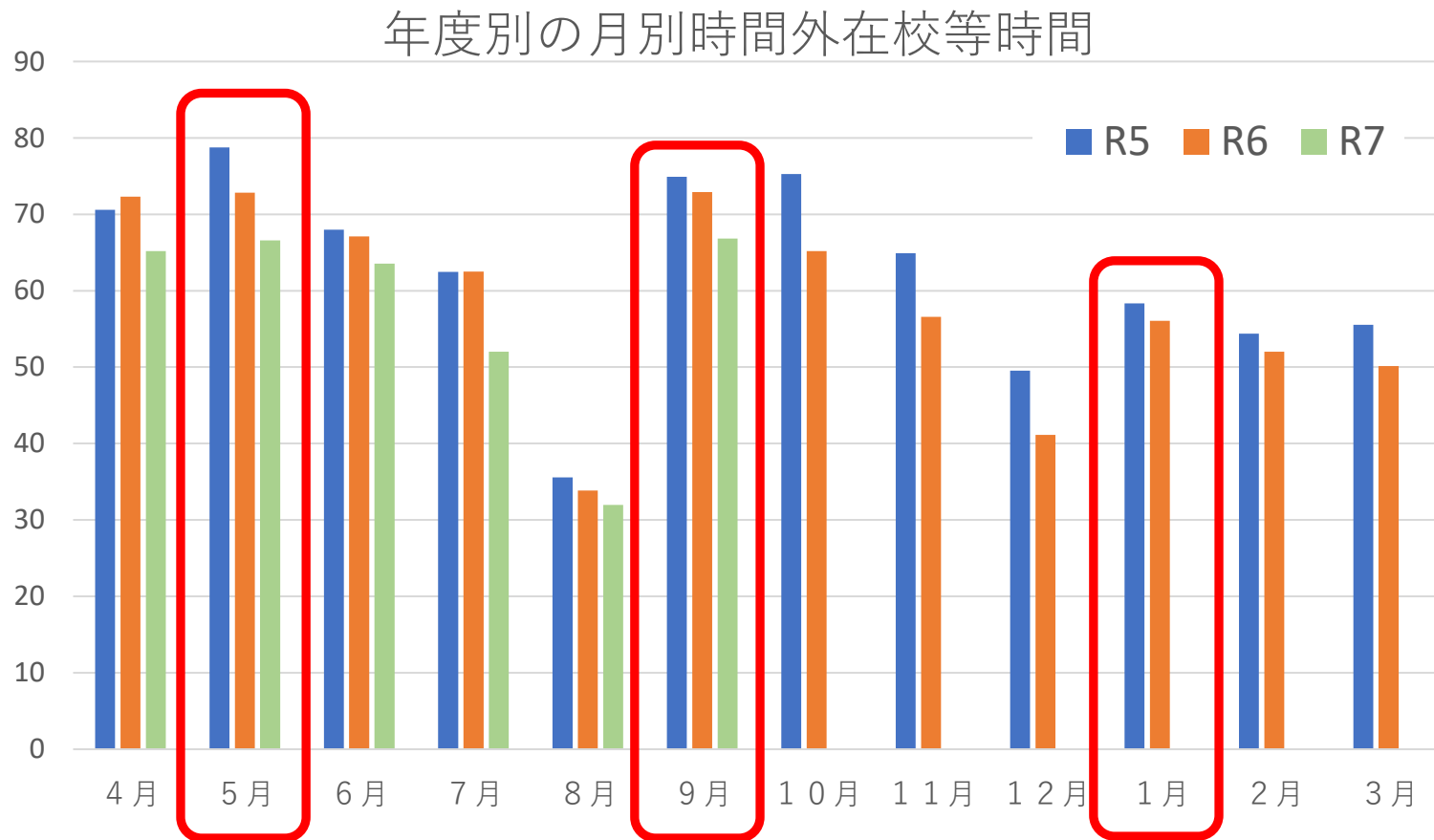
○中高一貫教育校
中学 2 クラス × 3 学年
高校 7 クラス × 3 学年

○校訓「協和・進取・叡智」

- 1) 互いの人格を尊重し、協力する心を大切にする人間を育てる。
- 2) 積極的に物事に取り組み、主体的に行動できる人間を育てる。
- 3) 一人ひとりの個性を生かし、高い知性を持つ人間を育てる。



2 本校の時間外在校等時間（高校）の状況について



※分以下切り捨て

→経年で見ると減少傾向にある

→月別で見るとピークの傾向がある

30代で減少傾向が顕著であり、1年目より2年目の方が時間外在校等時間が多い傾向 3 -

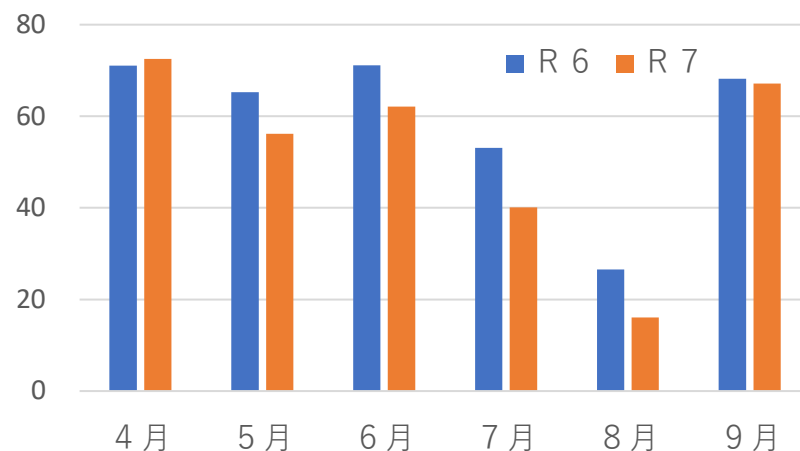
3 本校の時間外在校等時間の状況について

副校長・教頭マネジメント支援事業
[非常勤講師の配置]

- ・令和7年度から実施
- ・教頭業務の一部を教員が担う
(授業時間の軽減措置)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
R 6	71.05	65.27	71.10	53.08	26.57	68.18	59.21
R 7	72.53	56.15	62.12	40.12	16.05	67.13	52.35

教頭の時間外在校等時間の比較



- ・本校の高校教頭と中学校教頭の平均
- ・高校の教頭は3年目、中学校の教頭は初めて

実施した所感

- ・同僚教員のため、学校のことを理解しており、伝達がスムーズである。
- ・会計年度任用職員と違い、同じ勤務時間を共にできる。
- ・仕事の依頼がしやすい。(授業時間の軽減をしているため)
- ・教頭が業務の相談をすることで孤独感が減少した。
- ・教頭業務の理解が進み、管理職への意識も向上した。

3 今後の課題

部活動指導の負担軽減

教員の日常的な業務の負担軽減

(教材作成、授業準備、書類作成、配布物印刷および仕分け、提出物確認など)

生徒や保護者などの対応への支援

外部人材の充実

- ・ 部活動の外部指導員
- ・ 教員業務支援員
- ・ スクールカウンセラー
- ・ スクールソーシャルワーカー
- ・ スクールロイヤー
- ・ ICT支援
- ・ 進路指導支援、生徒指導支援
- ・ 保護者や地域からの支援 など

柔軟な働き方の仕組み

生成AIの活用

そのためには、

- ・ 研修の充実
- ・ 校務に利用できるプロンプト例の提示
- ・ 有料アカウントの用意

教員のさらなる意識の醸成

校務DXの一層の推進

- ・ 統合型校務支援システム
- ・ 採点支援システム
- ・ 教材や文書のデータベース化

さいごに